

令和6年度第2回県立障がい福祉施設評価員会議 議事要旨

- 1 日時： 令和7年2月18日(火)13:30～16:40
2 場所： 岐阜県立みどり荘 会議室
3 議題： 令和7年度事業計画案について
令和6年度第1回評価員会議における評価結果への対応について

【主なご質問・ご意見】

※出席者分のみ

<ひまわりの丘>

《評価員からの質問・意見》

- ①施設において、強みとして自覚していることは何か。(A評価員)
- ②強みとなる点については、もっと社会に発信していくと良いと思う。
日中一時支援について、今後もニーズに応え希望者を受け入れてほしい。
意思決定において、今後も利用者の意思に重きを置いて対応してほしい。(B評価員)
- ③虐待防止等、重点課題への対応は、研修などへの参加よりも、本人の意思を求め、それを取り上げ、一緒に行動し取り組むことに真の解決策があると思う。(C評価員)
- ④近隣の学校で開催する行事に積極的に参加するとあるが、どういう行事か。
行事への参加はコロナ禍でできなかったのも、これからまたやっていただきたいと思う。
(D評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①他の施設では受け入れが出来ない重度障がい児においても受け入れができています。
職員の高い支援力により重度障がい児に対しても適切な支援が可能な点。
- ③虐待を狭い意味で捉えず対応することが大切。虐待防止で重要なことは、子どもを大事にすること。子どもが自分の意見を言える環境にあることと考えている。
- ④近隣の大学で行われている学園祭に参加したり、今年度は県で国民文化祭が実施されたので、その関係で他の事業所との交流会に参加した。来年度以降も、より前向きに取り組みたい。

<みどり荘>

《評価員からの質問・意見》

- ①施設において、強みとして自覚していることは何か。(A評価員)
- ②意思決定に対し、利用者に意思を聞くようなことはしているか。(C評価員)
- ③利用者の意思決定に加えて、施設の環境面について職員の中からのいろんなアイデアも話せる環境であってほしい。(B評価員)
- ④施設が老朽化しており、将来ビジョンについての何らかの対策が必要だと感じた。
(D評価員)

⑤日中の時間帯の職員配置を教えてください。(C評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①発達障がいや自閉症、強度行動障がいの方が非常に増えてきているが、そういった方への支援に力を入れている点。創作活動や美術活動に力を入れている点。
- ②意思決定支援について、個別支援計画の時に確認をしている。今後、周囲の社会資源も積極的に活用していけたら良いと思う。近隣の作業活動をしている事業所等への見学や体験を取り入れていきたい。
- ③今後、建物について建て替え等の話があれば、新しい施設に対するアイデアを反映させていきたい。
- ⑤日中は早番と遅番で3人から4人ぐらいが勤務している。国の基準は十分満たした中で、さらに人員配置体制加算を取得できる加配職員を配置している。

<はなの木苑>

《評価員からの質問・意見》

- ①施設において、強みとして自覚していることは何か。(A評価員)
- ②本人の意思を聞かれた中で、施設ではなく地域移行がしたいと回答した利用者の割合はどのくらいか。(C評価員)
- ③意思決定支援の方法は色々あるが、その人に寄り添い、その人の人生を応援し、その人と一緒に歩んでいる人が支援をすることで、本人の意思がわかり、本人も意思を表すのだと思う。(C評価員)
- ④施設の強みは多彩な専門家がいるためそれを活かして対応できるところにある。このような自分たちの専門性をもっとアピールしていくといいと思う。(B評価員)
- ⑤生活の全てを施設の中でやるのではなく、既存の事業を施設の中に取り込んだりして、いろんな分担を考えていくと良いと思う。(D評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①重度の障がい者の受け入れを重点的に実施している点。職員の支援力を高めることに力を入れている点。具体的には、利用者の思いを汲み取る力や技術力を高めている。
- ②現在のところ、地域での生活や就労を希望している利用者は2人いる。そのうち1人は、実際に日中に外で働いている。
- ⑤近隣の資源を利用し、施設に入ってもらふ機会や施設から出ていく機会を増やし、利用者の希望や特性に応じた生活を組み立てていきたい。

<陽光園>

《評価員からの質問・意見》

- ①施設において、強みとして自覚していることは何か。(A評価員)
- ②ショートステイの利用者は、今年度はどれくらいいたのか。(D評価員)

- ③施設としての問題点は何かあるか。(D評価員)
- ④地域移行について、本人たちに意思の確認はしているか。していた場合、どういう傾向の回答があったか。(C評価員)
- ⑤入所者が地域移行をしたい場合、体験やシミュレーションは可能か。また、施設から出たけどまた施設に戻りたい場合はどのように対応するのか。(B評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①ボランティアの方が充実しており、地域とのつながりがある点。喀痰吸引のできる職員が20名ほどおり、夜間、看護師がいなくても対応できる体制がとれる点
- ②今年度は延べ利用で84名となっている。利用期間は、一泊二日や二泊三日が多い。
- ③施設の老朽化と多床室である点。
- ④毎年利用者への確認はしており、昨年度と今年度に関しては、1名の方が地域移行を望んでいる。それ以外の方は、現在の施設での生活を希望している。
- ⑤グループホーム等の体験を希望されることがあれば、一定期間お試し利用ができる制度はある。施設から退所され、地域で生活したが、やはり施設に戻りたい場合で、施設が満床の場合は、他機関と連携を図りながら、施設を探していくこととなる。

<三光園>

《評価員からの質問・意見》

- ①施設において、強みとして自覚していることは何か。(A評価員)
- ②見学後に入所を断られるケースは、どういう状況で断られたのか。(D評価員)
- ③今は環境の整備を考えていく時期かと思う。先が見えるような計画があると良いと思う。(C評価員)
- ④高齢の方のケアが必要になってくる方は得意な人がやると良いが、職員の人事交流はあるのか。(B評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①介護リフトを積極的に活用し、リフトリーダーの資格取得にも積極的に取り組んでいること。他の施設で受け入れられなかった利用者でも積極的に受け入れていること。
- ②建物の老朽化と多床室である点等が主な理由。他に、身体障がい者以外を受け入れていることによる騒がしさ等を理由に断られたケースもある。
- ④過去20年ほど前に、身障の施設から知的の施設へ(逆のケースもあり)一定期間体験交流を実施していた時期もあるが、現在は行っていない。一方、障がい者の施設課題検討チームを持ち、それぞれの課題について、施設間で意見交換等を行い、方向性を整理している。

<サニーヒルズみずなみ>

《評価員からの質問・意見》

- ①施設において、強みとして自覚していることは何か。(A評価員)
- ②お祭りとかイベントといった地域交流は実施しているか。(D評価員)
- ③利用者の意見を聞くというのは、どんな形でやっているのか。(D評価員)
- ④利用者がどんな活動をしているのかということが、もっと見えてくる事業計画であれば良いと思った。(C評価員)
- ⑤利用者で行っている活動について、例を挙げてほしい。(A評価員)
- ⑥今は正規と非常勤ともに人材確保が難しい。人材確保の1つの手段として、地域交流を使用してみても良いのではないかと思う。(B評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①職員が頑張って協力し合い、明るく元気に利用者の支援ができていているところ。
利用者の満足度を上げられる施設にしていきたい。
- ②以前は地域の方も含めた大きなお祭り(文化祭)をやっていたが、コロナ禍の影響もあり、現在は開催できてない状況である。
地域交流としては、利用者の制作された展示会等で参加している状況。
- ③半年に1回の個別支援計画を立てるときに、担当職員が利用者に聞き取りをしている。担当職員によってはそれ以上の頻度で行っている。
- ⑤毎月「利用者全体会」というものを行っている。流れとしては、利用者自治会での代表者と会議を行い、代表者から挙げた意見を利用者全体に知らせ、意見等を利用者支援に活かしている。

<幸報苑>

《評価員からの質問・意見》

- ①施設において、強みとして自覚していることは何か。(A評価員)
- ②相談支援事業の移行について、相談がなかったということで良いのか。(D評価員)
- ③三光園とは隣同士であり、これから整備を考える時には、三光園と幸報苑というのは一体化して考えた方が良いのかなと思う。(C評価員)
- ④事業計画に記載の「ゆとりの時間」とはどんなものなのか。(B評価員)
- ⑤幸報苑の利用者は何名か。(C評価員)
- ⑥来年度の収支状況が良くなっているというのは、人員体制加算か。(C評価員)

《指定管理者からの回答》

- ①旧授産施設ということもあり、現在も作業等を行っているが、高齢化等により、以前のような作業は出来ていない状況ではある。現状地域移行は難しいが、自立されている方が多いため、個々によっては可能性が伸ばせる利用者が多いと思われる。
- ②相談ケースはあるが事業団が運営している入所利用者が対象。人員の配置的な問題もあり、幸報苑に併設していた岐阜北相談支援センターをひまわりの丘地域活動支援センターへ移管し、引き続き運営させていくこととした。
- ③今後の方向性として、一体化も含め考えていきたい。

- ④利用者がやりたいことを、職員と1対1で行う時間になる。例えば、一緒に散歩してほしいとか、一緒に手芸をしてほしいとかであり、1回に30分は確保されている。
- ⑤今は40人定員で37名の利用者となっている。
- ⑥今年度定員を50名から40名に変更したことにより、基本報酬の単価が上がったことが、収入増の主な要因である。